

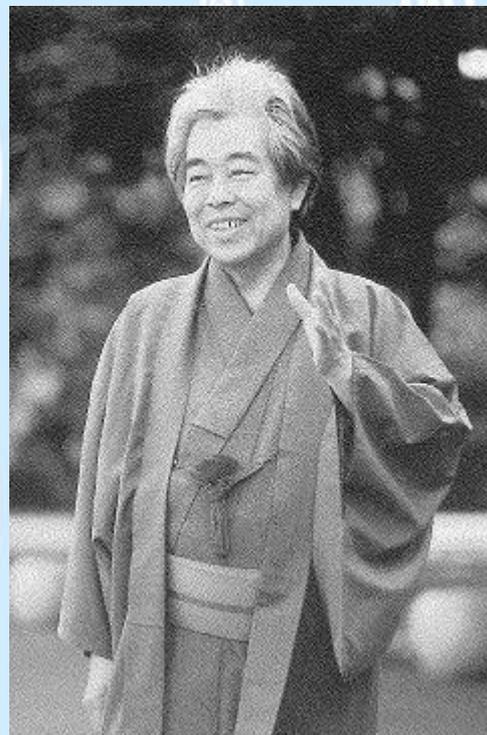
西東京市ゆかりの文化人 尾崎秀樹の業績

おざき ほつき

旧保谷市在住の尾崎秀樹氏 [1928～1999]が亡くなっ

て20年が経ちました。兄の秀実氏^{ほつみ}[1901～1944]が「ゾルゲ事件」で処刑されたことから、台湾では迫害を受けました。戦後日本に引き揚げ、やがて「大衆文学」の発見者となります。

文芸評論家として活躍する原点になった時代を顧みつつ、その先駆的な業績を講師の石井氏が再評価します。



【日時】
令和2年 2月11日 (火・祝)
午後2時～4時
(開場：午後1時40分)

【会場】
柳沢公民館 視聴覚室
(西武新宿線西武柳沢駅南口 徒歩1分)

【定員】
80名 (先着順)

【申し込み方法】
申し込み不要
直接会場へお越しください。

【問い合わせ先】
西東京市中央図書館
電話：042-465-0823

講師 ^{いし い まさ み} 石井 正己 氏

西東京市在住

東京学芸大学教授 一橋大学大学院連携教授

柳田國男・松岡家記念館顧問 日本文学・民俗学専攻

著書『昔話の読み方伝え方を考える』(三弥井書店)

『遠野物語～柳田国男「記憶」に戦慄せよ』(NHK 出版) 他多数。

